

教育同窓会 会報

- ・教育学部
- ・人間社会学域
学校教育学類
- ・大学院教育学研究科
- ・養護教諭特別別科

発行：金沢大学 教育同窓会事務局

創刊号 2011.3.20



教育同窓会会報 発刊にあたって

教育同窓会 会長
岩田 靖夫
(S43.3卒)

私は、このたび推薦を受けまして、金沢大学教育同窓会会長の職に就きました岩田靖夫と申します。どうぞ、よろしく願いいたします。

早速ですが、この同窓会会報は、「金沢大学教育学部同窓会」創立以来の初刊にあたります。

会報名でお気づきと存じますが、これまでの同窓会の名称「金沢大学教育学部同窓会」が「金沢大学教育同窓会」に改称されました。その理由は、平成20年4月に、金沢大学の教育組織が「学部制」から「学域・学類制」へ一大転換したことに因るものです。

今回、金沢大学事務局内に、大学とすべての同窓会をつなぐ部署＝「学友会」が設けられました。そこで、当同窓会もこれまで以上に積極的に活動したいと考えまして、下記の活動を総会で提案し、承認を得ました。

一つ目は、同窓会会報を発行することです。会員の様々な活動をお知らせすると同時に、会員相互の交流の場にしたいと考えています。

二つ目は、大学並びに教職を目指す学生に、同窓会として支援活動をすることです。学友会と連絡を取りながら、大学や学生の要望に、可能な範囲で応えたいと考えています。

三つ目は、卒業生名簿を充実させることです。先輩のご苦勞があって整理・作成されました卒業生名簿に、その後の卒業生を加えるとともに、住所が分からない会員の住所を探したいと考えています。

どうぞ、上記のことに賛同していただき、今後とも、お力添えをくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



教育同窓会会報 発刊によせて

金沢大学人間社会学域
学校教育学類長(教育学部長)
矢倉 公隆
(教育同窓会顧問)

教育同窓会会報の発刊に寄せて一言卒業生の皆さんにご挨拶とお願いを申し上げます。

金沢大学における教員養成の歴史は古く、石川師範学校を源流としています。新制金沢大学が昭和24年に設置されて以来、教育学部として石川県の教員養成に大きな役割を果たし、教育界はもとより多方面でご活躍の優秀な卒業生を輩出してきたことは周知の通りであります。

この間、金沢大学は時代の要請により様々な改革を行ってきましたが、平成20年に大幅な組織再編を行い、従来の学部制から学域・学類制へと移行しました。教育学部に関しては、人間社会学域学校教育学類という教員養成に特化した組織へと受け継がれました。また大学院教育学研究科(昭和57年発足)も学類発足の翌年の平成21年に大幅に改組しました。これを契機に、カリキュラムの大幅な改変をすることによって、いま学校現場から求められている、様々な問題に的確に対処できる“実践力”を身につけた人材の養成に力を入れております。

しかし、このような改革が身を結ぶかは、大学教員の取り組み方に懸かっていることは申すまでもありませんが、それに加え、多方面でご活躍の卒業生の皆さんからのご支援を頂くことが、教員を目指す現役学生にとっても大きな励みになると思う次第です。

そのような意味でも今後とも、この教育同窓会会報の発刊を契機に情報交換を密にして、大学と卒業生の皆さんとの連携を更に深めてまいりたいと思いますので何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

第2回 教育同窓会 総会開催

日時：2010.11.6(土)
13:30~14:20
会場：金沢大学
自然科学講義棟

第2回総会は、金沢大学主催のホームカミングデイの式典に先立ち、角間キャンパスの自然研講義室を会場に開催されました。

教育同窓会総会は、平成2年の設立総会以降、20年間開催されませんでした。今回は大学の学部改組に伴って同窓会名や規約を改正したことや、金沢大学の全学同窓会設立の動きが本格化し同窓会活動の活性化が求められていることなどから開催されました。

総会出席者は、ホームカミングデイ参加者を中心に28名と少数でしたが、これを機に他学部同窓会と比較すると形骸化している組織や活動の見直しをすることなどが確認されました。

総会では窪田長世前会長から、平成2年の設立総会以降の活動報告を交えて挨拶がありました。さらに来賓として出席いただいた矢倉学校教育学類長様、大久保大学院教育学研究科長様から、ご挨拶と大学の教員養成課程の変遷や大学院の現状についてご説明をいただきました。法・経・文・教の4学部の枠組みが改められて人間社会学域というくくりとなり、教員養成はその中の学校教育学類で行われていることや、教員の資質向上を目指す大学院の特色ある取り組みなどについて、同窓会員として理解を深めることができました。



澤野事務局長からは、同窓会の現状報告として、規約の改正点や会費の納入規定、同窓会名簿の整備などについて説明がありました。同窓会名簿は平成2年に作成され、希望者が購入しましたが、その後は改訂作業が行われていません。今後は個人情報保護の観点から名簿の発行は行わず、事務局が新しい情報に基づいて整備・管理し、会員が同窓会開催などのため最新の情報を必要とする場合は、事務局に申請し会長の承認を得て提供していくことになりました。

最後に岩田靖夫新会長から新しい役員との紹介と、今後の活動として会報の発行や大学の教員養成への支援を新たに加えることなどについて説明がありました。

教育同窓会 発足からの歩み

- H2 卒業生名簿作成(名簿作成委員会)
- 教育学部同窓会設立総会(六華苑)
- 11 金沢大学創立50周年記念事業に支援
- 18 金沢大学同窓会連絡協議会が発足し、教育学部同窓会も参加
- 19 同窓会幹事会を開催し、役員交代と今後の活動について協議(KKRホテル金沢)
- 20 第1回同窓会代議員会を開催、役員改選、規約改正を承認(金沢大学サテライト・プラザ)
- 同窓会事務局を金沢大学事務局内に設置
- 22 第2回同窓会代議員会を開催、役員改選、会則改正(同窓会名称・役員組織・会費徴収など)、総会開催を承認(金沢大学サテライト・プラザ)
- 第2回総会開催(金沢大学自然研講義棟)

教育同窓会役員

会長	岩田 靖夫(S43)	
副会長	金浦 修郎(S43)	宮腰 正記(S39)
	平田 四郎(S35)	
会計	東 実(S50)	
監事	正見 巖(S32)	野村 祐治(S34)
事務局長	澤野 等(S45)	
幹事	大杉 繁(S50)	山下美奈子(S52)
	坂根 功一(S55)	佐々木清嗣(S57)
	山本 桂一(S58)	寺井 義春(S61)
	辻谷 友紀(H15修)	大学職員)
顧問	矢倉 公隆(学校教育学類長)	
	大久保英哲(大学院教育学研究科長)	
	山本 博男(学校教育学類教授)	S47)
	深美 和夫(元会長)	S28)
	窪田 長世(前会長)	S38)

金沢大学 教育同窓会 会則

第1条 本会は、金沢大学教育同窓会と称し、金沢大学教育学部、人間社会学域学校教育学類、金沢大学養護教諭特別別科、及び金沢大学大学院教育学研究科を卒業又は修了した者を正会員、在学生在を準会員とし、金沢大学学友支援室（金沢市角間町 金沢大学事務局）に事務局をおき、石川県教育委員会各教育事務所管内並びに金沢市に支部をおく。

第2条 本会は、会員の親睦と教育の振興を図ることを目的とする。

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の行事を行う。

- (1) 会員の親睦厚生に関すること
- (2) 会員の研修に関すること
- (3) 教育諸団体と連携し教育の振興に寄与すること、及び金沢大学と連携し在在学生に対する支援を行うこと
- (4) その他必要なこと

第4条 本会に、次の役員をおく。

会 長	1名	副 会 長	3名 (加賀, 金沢, 能登)		
支 部 長	各支部1名	副支部長	各支部1名	理 事	各支部若干名
幹 事	若干名	事務局長	1名	卒業年次委員	若干名
会 計	2名 (金沢市)	監 事	2名 (金沢市)		

第5条 役員を選出は、次の方法による。

- (1) 会長・副会長・監事は、代議員会において選出する。
- (2) 支部長・副支部長・理事は、各支部において選出する。
- (3) 幹事・事務局長・卒業年次委員は、会長が委嘱する。
- (4) 役員任期は、2か年とする。但し、再任することができる。

第6条 会長は、本会を代表し会務を統理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し会長に事故ある場合にはその職務を代行する。
- 3 支部長は、支部の会務を統理し、副支部長は、支部長を補佐する。
- 4 理事は、代議員会における議決事項や他の会務を執行し、内1名は支部の会計事務にあたる。
- 5 幹事は、理事に協力して日常の会務の処理にあたる。
- 6 事務局長は、会長、副会長を補佐し、本会の事務全般を統括する。また、金沢大学同窓会連絡協議会との連絡・調整にあたる。
- 7 卒業年次委員は、各年度会員の動静を本会に報告し名簿・会誌の編集に協力する。
- 8 会計は、本会の会計事務にあたる。監事は、本会の会計を監査する。

第7条 本会に、顧問をおくことができる。顧問は、代議員会の議を経て会長が委嘱する。

第8条 本会は、次の会合を行い会長はこれを招集する。

- (1) 総 会 随時開催し、親睦・研修の行事を行う。
- (2) 代議員会 年1回以上開催し、役員選出、予算・決算、会則変更その他の重要事項を議定する。

第9条 本会に事務を執るため、書記をおくことができる。

第10条 本会の経費は、会費等による。会費の額及び納入の時期等については、別に定める。

第11条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

附 則 本会は、平成2年12月9日から実施する。

附 則 この会則は、平成20年2月24日から施行する。(一部改正)

附 則 この会則は、平成22年3月6日から施行する。(一部改正)

金沢大学教育同窓会 会費納入規程

金沢大学教育同窓会会則第10条に基づき、会費の額及び納入の時期等について、次のとおり定める。

- (1) 会費の額は、終身会費として20,000円とする。
- (2) 納入の時期は、準会員の資格を得た入学時とする。ただし、大学院教育学研究科の入学者のうち本学出身者であって会費の既納者は除くものとする。
- (3) 会長が本会の運営のために必要と認めたときには、代議員会の承認を得て本会の正会員から特別会費を徴収することができる。
- (4) 一旦納入され会費はこれを払い戻さない。

附 則

この規程は、平成22年3月6日から施行する。

教育学部地理学教室同窓会開催

2010. 11. 6 (土)

金沢都ホテル

教育学部地理学教室同窓会（橋礼吉会長 会員数433名）が11月6日、72名の恩師・卒業生が参加して金沢都ホテルで開催されました。

大学改組により教育学部地理学教室としての卒業生は本年度が最後となります。そこで、同窓会では記念植樹や研究集録「砂丘」の製本、名簿の整備などの記念事業を行いました。記念植樹は研究室から見下ろす教育の森の一隅に、石柱と共にカシワの木を植えました。研究集録「砂丘」は矢ヶ崎先生が保存していたものを合冊製本し、大学図書館に寄贈しました。「砂丘」には先生方の寄稿や卒論・巡検の概要などが掲載されているもので、地理研の貴重な足跡と言えます。

パーティには恩師の矢ヶ崎先生をはじめ、五味先生、山田先生、中野先生、丸山先生が出席してくださいました。また、亡くなられた岡本先生のご長男も大阪から駆けつけてくださいまし



た。記念撮影の後、橋会長の挨拶、記念事業の説明があり、矢ヶ崎先生の音頭で乾杯しました。先生方の近況報告なども交え、和気あいあいの中で学生時代の思い出話に花が咲きました。

同窓会開催と記念事業の準備に幹事を中心に2年余りの歳月を費やし、名簿の整備や記念事業への寄付依頼など多くの困難がありました。しかし、盛会のうちに同窓会としての足跡を残せたことは大きな成果だったと言えます。

☆☆☆学友支援室からのお知らせ☆☆☆

金沢大学 学友会について

金沢大学は、1862年設立の加賀藩彦三種痘所を源流とする日本で3番目に歴史と伝統ある国立大学で、2012年に「創基150年」を迎えます。また、来年は学域・学類の卒業生を初めて送り出す年となることから、これを機に全学同窓会「金沢大学学友会」（学友会）を設立することになりました。

学友会は、教育同窓会も参加した「金沢大学同窓会連絡協議会」を構成する学部・学科及び前身校の同窓会（基幹同窓会）を中核にして、サークル・同好会等の同窓会、学年会等の同窓会、地域・職域・海外の同窓会のような金沢大学の卒業生で組織する様々な同窓会のうち、学友会に加盟登録する同窓会（登録同窓会）で構成する、より広範でゆるやかな連合組織となる予定で、第5回ホームカミングデー開催日の今年11月5日に設立されます。各地の「兼六会」、「金大会」や研究室等の同窓会の登録をお願いいたします。

「学友支援ニュース・レター」で情報発信中

電子メールで同窓会の短信や大学の動きを伝える「学友支援ニュース・レター」（テキスト&PDF版）を御希望の方に配信しています。

なお今年は、東京（11/27、コクヨホール）と大阪（10/1、OBP円形ホール）で、金沢大学のシンポジウムが開催されます。両地域の皆様は是非ご参加ください。詳細は大学のホームページに掲載してありますのでご覧頂ければ幸いです。 <http://www.kanazawa-u.ac.jp/>（金沢大学学友支援室長 西谷公作 記）

編集後記

国立大学が法人化され、その独自性が求められている中で、同窓会の果たす役割に期待が寄せられています。教育同窓会も組織や役員を一新し、期待に応えられるよう第2回総会を実施しました。今後は会報やホームページによる広報活動を定着させ、会員相互のつながりを濃くすると共に、大学に協力して教員養成の一助となるよう活動を活性化させていきたいと思えます。地域・学年・研究室等の同窓会情報やご意見・ご要望をお寄せください。会員の皆様のご協力をお願いいたします。（事務局長 澤野 記）

お願いとご案内

- ★同期会や研究室の同窓会などの予定がありましたら、下記の事務局までご連絡ください。また、開催後の報告もお待ちしています。会報などで紹介したいと思えます。
- ★同窓会を計画するにあたって、名簿などの情報が必要でしたら、事務局までお問い合わせください。

事務局 〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学事務局 学友支援室内
TEL 076-264-5081
gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp
事務局長：澤野 等（TEL 076-262-5804）